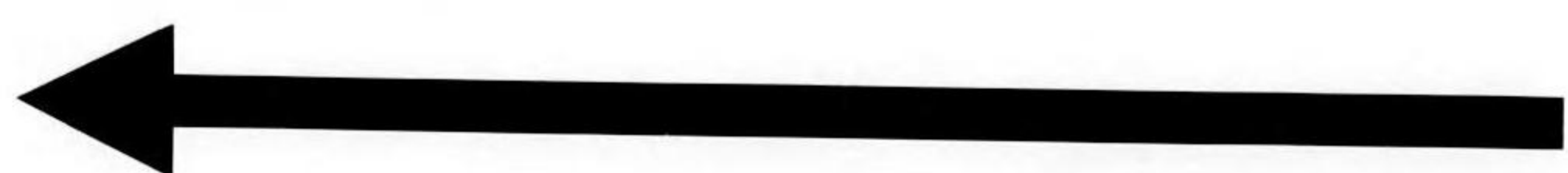


美術工藝資料
第壹輯

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

始



かの千載の後までも其の作家の名が其の作品と共に傳へらる、美術作品と姉妹關係にあつてその優秀なる作が古來各時代の反映として永存し、且つ其の作の美を推賞せられながら作家の名は其背後に謙遜に隠れて更に著はれないものは工藝美術の遺作であります。しかも各時代に於ける工藝美術は他の美術作品と比肩して毫も遜色なく、或は他の美術作品を凌がんとする氣勢を示せるものさへもあります、それは殊更に例を擧げるまでもなく、正倉院、法隆寺をはじめ、彼方此方に現存せる古代工藝作品を見らる、ならば誰にも首肯できることであらうと思ひます。且又現今の形勢を見るも工藝美術はかの繪畫、彫刻等の美術作品に駢進して決して遜色あるものではありません。無名の作家の手から造り出さる、諸作品の上には形態に線に色にそれ等の諧調によつて現出せる世相の影を認めることが能きるのであります。吾人が茲に古き工藝美術の跡を尋ねて之を紹介せんとする所以は常に現在の工藝家の製作の資料とせんが爲めのみでなく、これに依つて吾々の古き祖先の文化の跡を察し得んたつきもなさんとするのであります。

編者 識



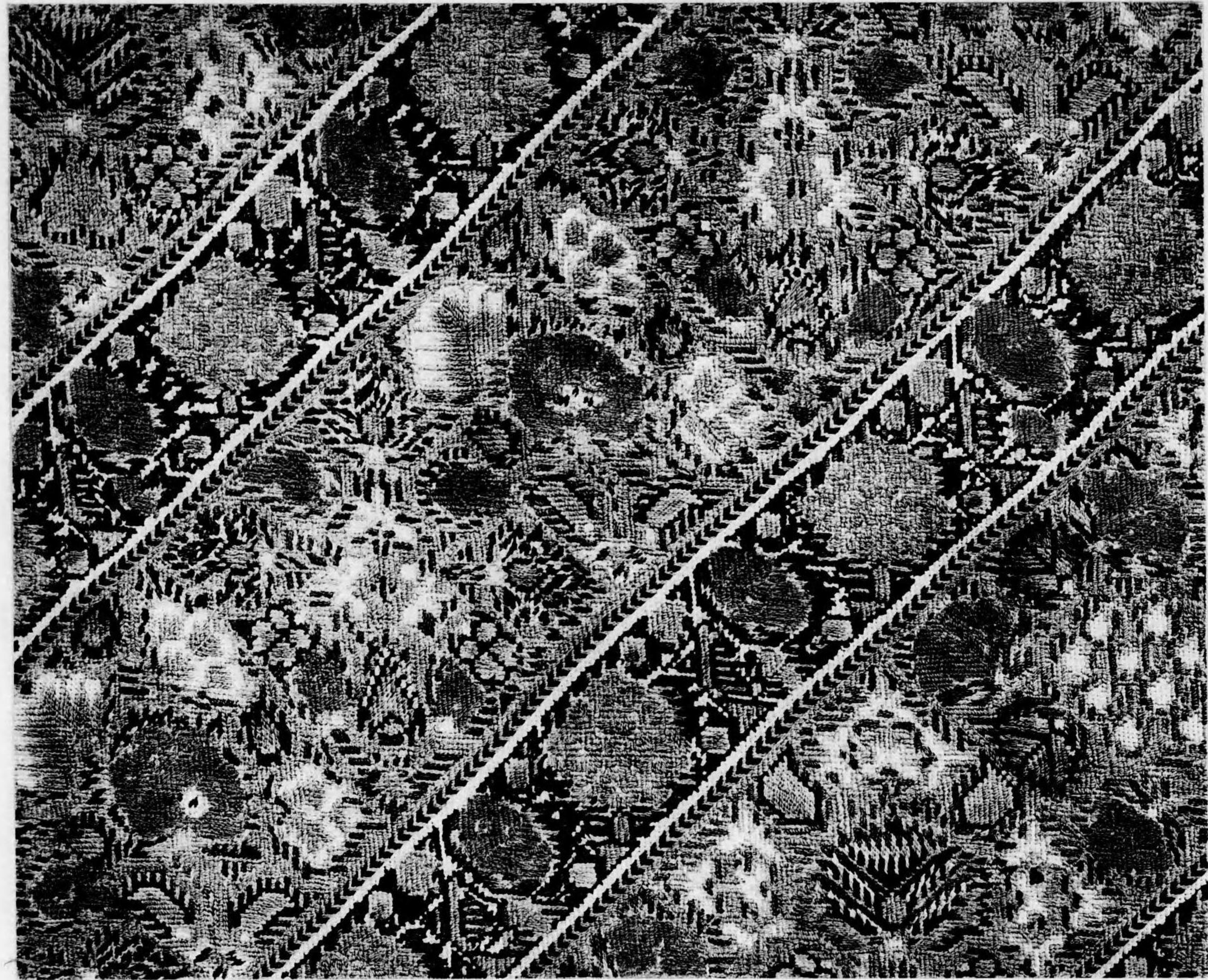
美術工藝資料

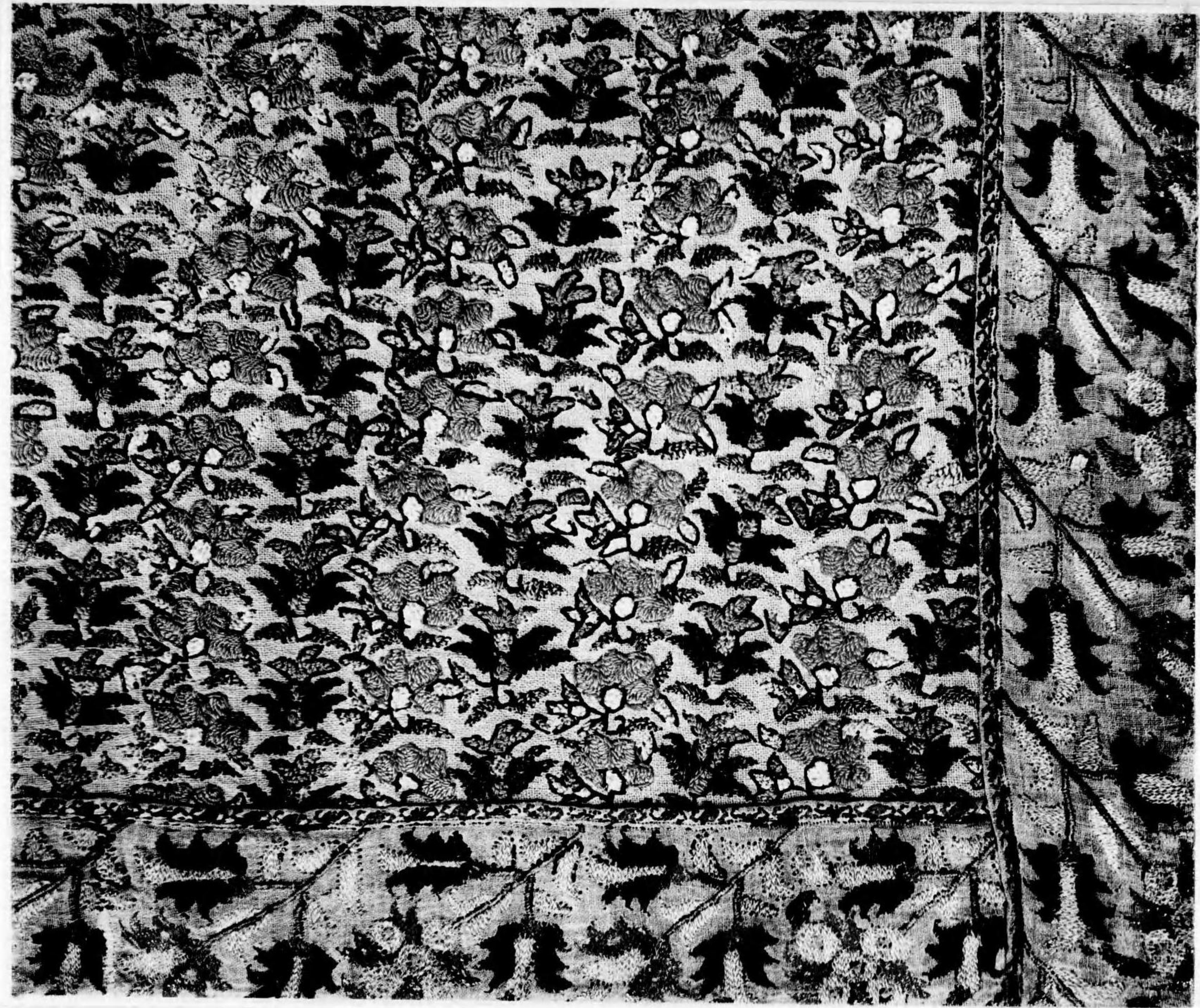
第壹輯



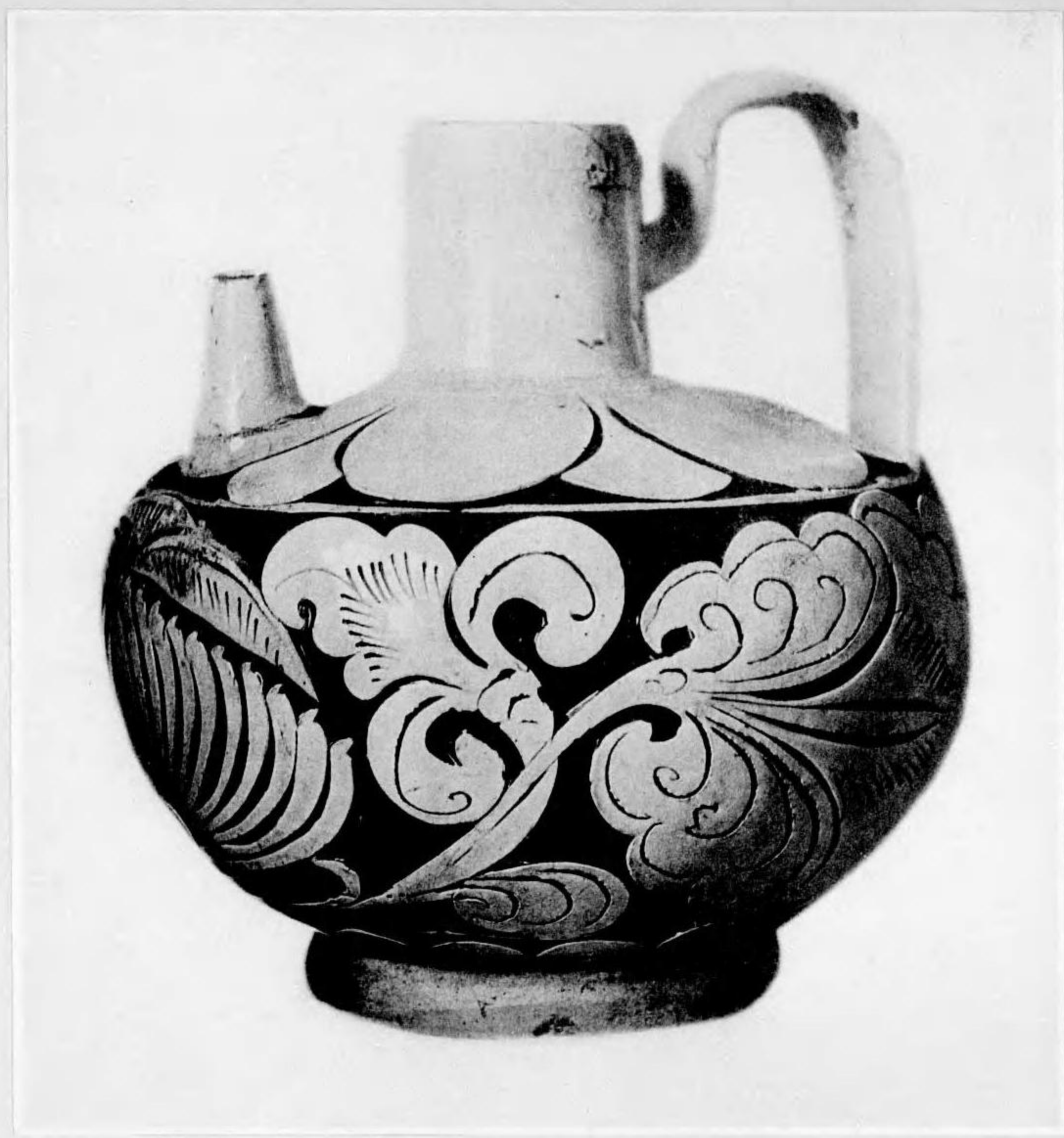
目次

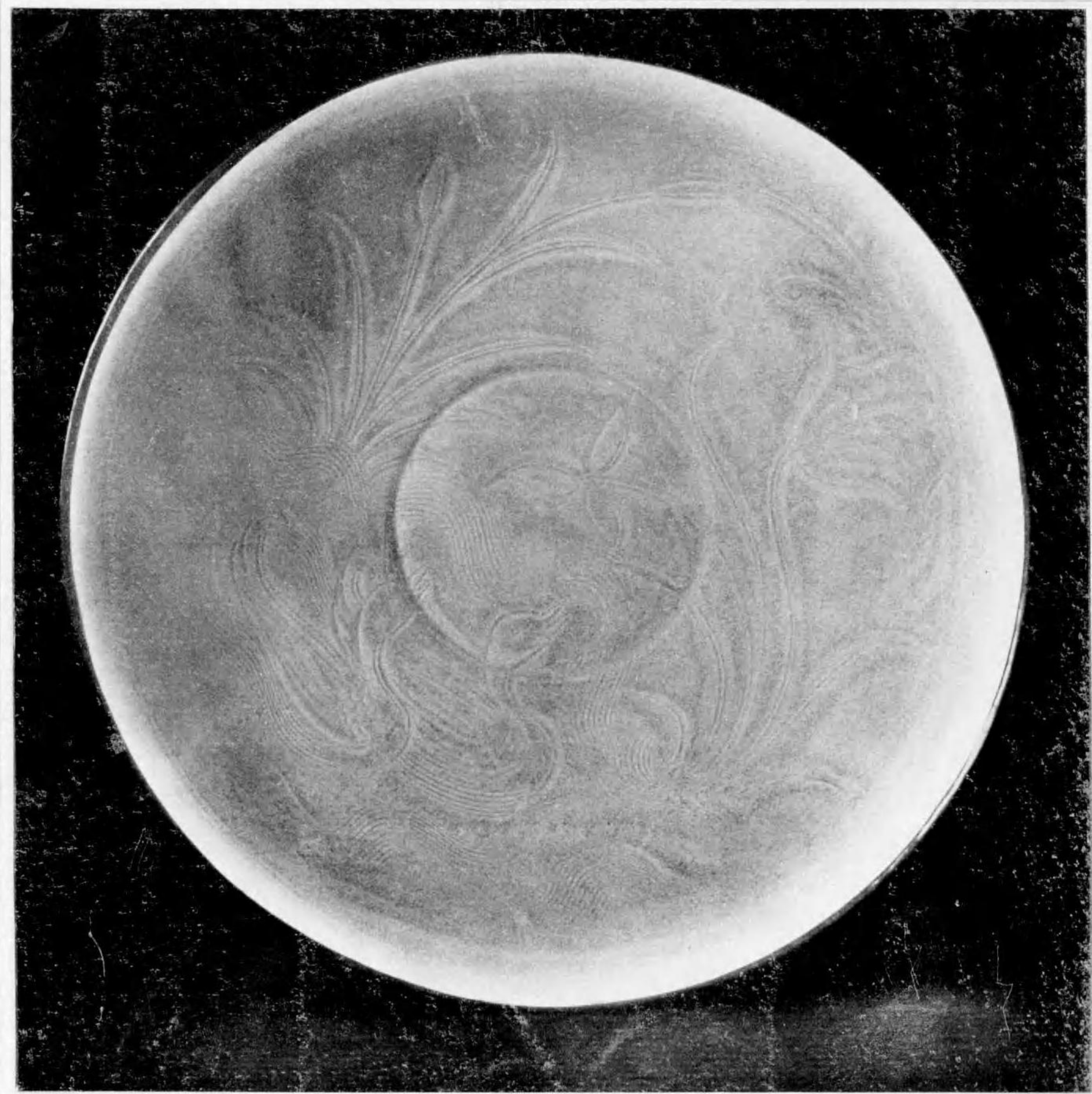
- 一、彼 斯 刺 繡 第十七世紀頃 (原色刷)
貴族ノ室内裝飾ニ使用セルモノ
- 二、土耳其 刺 繡 第十六世紀末 (原色刷)
- 三、支那陶器 花 瓶 (原色刷)
- 四、全 水 瓶、碗
- 五、全 鉢











終

大正拾叁年拾壹月貳拾五日印刷
大正拾叁年拾貳月壹日發行
京都市聖護院中町大番地
編輯發行者 後藤博山
印刷所 平安精華社出版部
發行所 平安精華社
京都市聖護院中町大番地
不復許製
申込外定價金參圓貳拾錢